

生活習慣病予防のための健康指導ビジネス確立 及びヘルスケア領域の新ビジネス起ち上げ

開発リーダー：株式会社ハビタスケア 代表取締役社長 徳淵慎一郎
研究リーダー：東京大学大学院薬学系研究科 教授 新井洋由



0. ハビタスケア

■ 企業概要

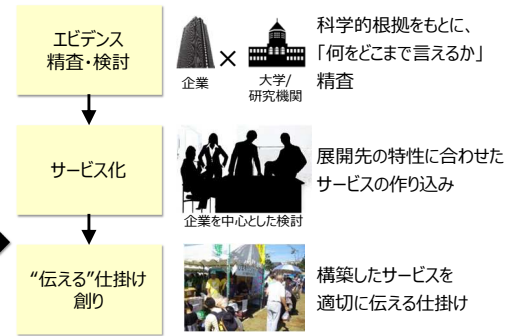
ヘルスケア領域で

- 科学的なエビデンスに基づいて
- シックケア（医療）領域とシームレスに繋がり、
- 一般生活者が正しい情報のもとに
選択可能なサービスを創る
(≒情報の非対称性で売るビジネスにしない)
ことをミッションにしているベンチャー企業です。

■ 事業概要と主なプロジェクト

<p>東大・筑波大との協力体制で進める研究開発</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 東大COIのヘルスケアプロジェクト 筑波大付属病院 糖尿病内科（矢作准教授）との連携 ⇒ 共同研究先として協力体制
<p>2型糖尿病リスク分析/予防サービス展開 [詳細は1.]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣リスクと遺伝的多型に基づく体質リスク評価を統合 「現場で使える」予防のための健康指導を提供するサービス
<p>ヘルスケア事業起ち上げ・展開支援 コンサルティング [詳細は3.]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 治験/PMS/臨床研究の仕組み改善 [詳細は2.] 駅からはじめるヘルスケア×ウォーキング ヘルスケア事業戦略支援（大手電機メーカー）

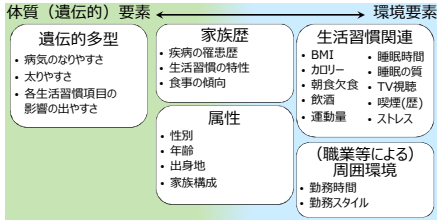
■ ハビタスケアの強み



1. 2型糖尿病リスク分析/予防サービス

■ サービス概要

遺伝的多型・生活習慣リスク両面から一人ひとりに合わせた健康指導を提供



<p>遺伝的多型分析</p> <p>固有の2型糖尿病のなりやすさが分かる</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本人の中で約7倍程度リスク差 自己認識とレベルに応じた対応可能 「自分事化」への寄与 日本人データに基づき正確な分析 西洋人データに基づくことの多い他検査とは根本的に異なる 	<p>生活習慣リスク分析</p> <p>どの項目がどの程度リスクが分かる</p> <ul style="list-style-type: none"> 筑波大糖尿病内科と新規開発したリスク予測モデル リスクの構成要素を定量的に予測 重みづけに基づいて優先順位付け 食事・運動・禁煙、何から何までではなく、個別化
---	--

一人ひとりに合わせた予防アクション

共同研究者コメント

二人ひとりに合わせた2型糖尿病予防を

ハビタスケアとの共同研究を通じて開発したこのサービスは、糖尿病発症予防の一つの強力な手段になると考えています。体質リスクと生活習慣リスクの両方を分析して自分ごと化を促して、一人ひとりに合わせた改善策を提供すること、現場で専門知識を持った医療者が最大限活用することで、2型糖尿病の発症予防に貢献できることを期待しています。

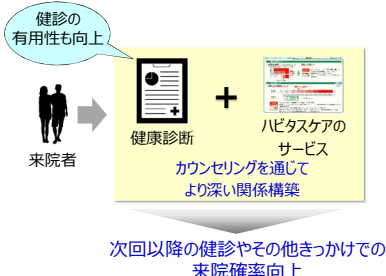
筑波大学 医学部薬学系 内分代謝科 糖尿病内科 矢作 直也 准教授

■ BtoBtoCの展開

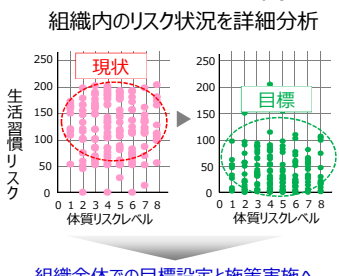
医療資格保持者(保健師・看護師・薬剤師)がカウンセリング

サービス提供先	展開のポイント
<p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療者との体制構築 三井化学への先行導入決定 	
<p>医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 2015年度 東大附属病院での臨床研究を計画中 専門医/看護師との共通理解のもとに展開 	

■ 活用イメージ (医療機関)



■ 活用イメージ (企業)



■ 臨床研究プラン

東大病院の人間ドック × ハビタスケアの糖尿病予防サービス

- 受診者3,000名弱/年
- 高いリピー率

■ ビジネス展開の基礎となるデータ取得

■ 三井化学等での企業展開と併せプロスペクティブ分析

■ サービスのPDCA“カイゼン”

⇒ エビデンスに基づく健康指導ビジネスの展開加速へ

■ 健康状態計測との連携可能性

健康状態計測との連携可能性

健康状態計測と健康指導を組み合わせ 体質・状態に合わせた予防

健康状態の連続計測 採血、音声、尿、静脈、他センシング技術活用 安心・安全 家庭でヘルスチェック

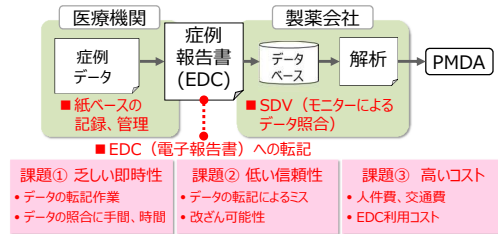
ハビタスケア健康指導 生活習慣病のための予防健康指導 食、運動との連携

2. 治験/PMS/臨床研究の仕組み改善

■ eSource申請システムの開発



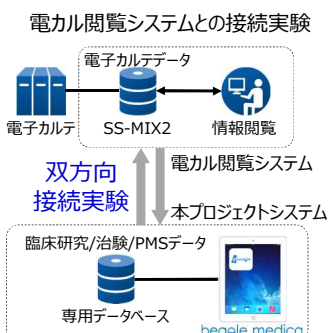
■ オペレーションの課題



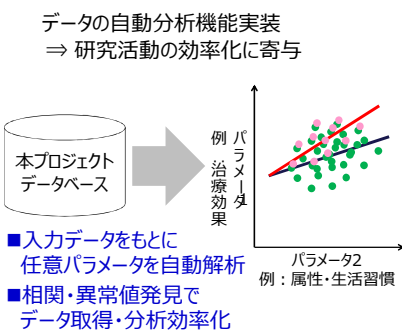
■ システム導入によって得られる効果



■ 東大COI内連携①



■ 東大COI内連携②



3. 駅からはじめるヘルスケア×ウォーキング

■ 駅ウォークラリーにヘルスケア情報取得と評価を繋げた仕組み

■ JR秋葉原駅を中心としたコースで 2014/10~11の2ヶ月間 実証事業を展開

■ 駅から歩くウォークラリー「えきぼ」

- 既存会員延べ2万人

■ ハルスケアアプリ連携

- 歩行距離や消費カロリーをモニター
- 既存アプリとの連携検討

■ ハビタスケアのヘルスケア効果評価

- 継続参加者のデータをもとに生活習慣病予防効果を評価

■ JR秋葉原駅

現在、ターゲットごとにビジネスモデル展開準備中

- A 秋葉原駅以外の他駅
- B 自治体観光事業と運動
- C 医療費を抑えたい自治体
- D 健康経営に取り組む企業
- E 医療機関/介護施設

■ 各種団体と連携

- 一般社団法人 日本ウォーキング協会 JAPAN WALKING ASSOCIATION
- 秋葉原観光推進協会 Akiba Tourist Promotion Association ATPA